

●鍵の聖句：ローマ1：8

「まず初めに、イエス・キリストを通して、あなたがた一同についてわたしの神に感謝します。あなたがたの信仰が全世界に言い伝えられているからです。」

●学ぶ人は…：

知 る：ローマの教会へのパウロの関心を説明する。

感じる：福音を述べ伝えるにあたって個々の教会が果たした影響力の真価を認める。

行 う：世界宣教の使命を果たす教会の働きの一翼を担うことを、決意する。

▼導入活動のヒント：

- ① アンテオケから、現在のトルコを通して、ギリシャへ行き、エルサレムに戻ってくる、パウロの第3伝道旅行は、陸路と海路を含め約4,350km程の旅程でした。そのために、4年以上かかり、その内の3年はエフェソで過ごしました。エフェソでは第1コリントへの手紙を、マケドニアでは第2コリントへの手紙、コリントではガラテヤとローマへの手紙を書いています。この距離を皆さんが住んでいる地域からどの辺までの地域になるのか地図で確かめてみてください。

▼学習の計画：

I. <知る>：聖徒となるために召される

A) 前に誰も入ったことのない地域に福音の働きを建て上げながら、パウロはたくさんの旅行をしましたが、ローマの教会に宛てた彼の手紙には、まだ訪れていない教会への彼の気遣いを、どのように記録していますか。

B) パウロの気遣いは、彼の福音の幻をどのように表していますか。

II. <感じる>：彼らの信仰の故に知られる

A) ローマは帝国の中心にあったので、ローマの教会は福音宣伝に重要な影響力を持っていました。既に教会は福音を教える力を持っていたのですが、何がパウロを動かして、この手紙を書くようにさせたのでしょうか。

B) 福音の世界的な伝道の働きにおいて、あなたの教会はどんな影響を与えていますか。あなたの教会を、その役割において強化するためには、どんなメッセージが重要ですか。

III. <行う>：鎖にも拘らず、自由に働く

A) パウロがついにローマにやって来たとき、彼は鎖に繋がれていました。彼が繋がれていた鎖は、ローマ人ばかりか、クリスチャン同胞の注意をも、福音の優越性に向けさせるのに助けとなりましたか。

B) あなたの人生の状況は、あなたが教会の働きに貢献できるように、どう役立ちましたか。

▼まとめ：パウロは、まだローマを訪ねていませんでしたが、彼は帝国全体に福音を伝えるために、良い土台を築くためにその教会の助けを求めました。